

V T X 生涯設計プラス30／70 (年3%目標払出型)

運用報告書（全体版）

第11期（決算日 2025年11月17日）第12期（決算日 2026年1月15日）第13期（決算日 2026年3月16日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「V T X 生涯設計プラス30／70（年3%目標払出型）」は、このたび第13期の決算を行いました。

当ファンドは、約款に定める投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の株式および債券に実質的に投資し、中長期的に安定的な信託財産の成長を図ることを目的としております。

当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行いました。ここに運用経過等についてご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2023年11月30日から原則として無期限です。	
運 用 方 針	約款に定める投資信託証券（指定投資信託証券とすることがあります。）への投資を通じて、主として日本を含む世界の株式および債券に実質的に投資を行い、中長期的に安定的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	当 フ ァ ン ド	作成対象期間末における指定投資信託証券は以下の投資信託証券です。 V T X ・ アンプレラ ・ ファンド V T X 30/70バランスファンド クラス D V T X マネー ・ マザーファンド
	V T X ・ アンプレラ ・ ファンド V T X 30/70バランスファンド クラス D	上場投資信託証券（ETF）
	V T X マネー ・ マザーファンド	わが国の短期公社債および短期金融商品
		●株式への直接投資は行いません。 ●外貨建資産への直接投資は行いません。 ●デリバティブの実質的な使用はヘッジ目的に限定します。 ●投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
組 入 制 限	当 フ ァ ン ド	
	V T X ・ アンプレラ ・ ファンド V T X 30/70バランスファンド クラス D	●有価証券の空売りは行いません。 ●純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ●非流動性資産への投資割合は、純資産総額の15%以下とします。
	V T X マネー ・ マザーファンド	●株式への投資は行いません。 ●外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時（年6回、原則毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各15日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 なお、各決算時点の基準価額に対して年3%相当の分配を行うことをめざします。	

**バーテックス・インベストメント・
ソリューションズ株式会社**

東京都千代田区有楽町一丁目13番1号
<https://www.vtx-is.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

フリーダイヤル：0120-43-7472

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時 土・日・祝日・年末年始を除く）

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰	中 率 落				
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2023年11月30日	10,000	—	—		—	—	—	5,934
1期(2024年3月15日)	10,173		50	2.2	0.1	—	99.5	6,065
2期(2024年5月15日)	10,406		50	2.8	0.1	—	99.5	6,261
3期(2024年7月16日)	10,474		50	1.1	0.1	—	99.5	6,315
4期(2024年9月17日)	9,983		50	△4.2	0.1	—	99.7	6,024
5期(2024年11月15日)	10,353		50	4.2	0.1	—	99.7	6,248
6期(2025年1月15日)	10,263		50	△0.4	0.1	—	99.7	6,197
7期(2025年3月17日)	10,040		50	△1.7	0.1	—	99.6	6,065
8期(2025年5月15日)	9,853		50	△1.4	0.1	—	99.6	5,957
9期(2025年7月15日)	9,978		50	1.8	0.1	—	99.7	6,032
10期(2025年9月16日)	10,153		50	2.3	0.1	—	99.7	6,139
11期(2025年11月17日)	10,196		50	0.9	0.1	—	99.6	6,175
12期(2026年1月15日)	10,290		50	1.4	0.1	—	99.6	6,232
13期(2026年3月16日)	10,047		50	△1.9	0.1	—	99.5	6,089

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率			
第11期	(期 首) 2025年 9 月16日	円 10,153	% —	% 0.1	% —	% 99.7
	9 月末	10,200	0.5	0.1	—	99.5
	10月末	10,265	1.1	0.1	—	99.6
	(期 末) 2025年11月17日	10,246	0.9	0.1	—	99.6
第12期	(期 首) 2025年11月17日	10,196	—	0.1	—	99.6
	11月末	10,260	0.6	0.1	—	99.6
	12月末	10,289	0.9	0.1	—	99.7
	(期 末) 2026年 1 月15日	10,340	1.4	0.1	—	99.6
第13期	(期 首) 2026年 1 月15日	10,290	—	0.1	—	99.6
	1 月末	10,241	△0.5	0.1	—	99.6
	2 月末	10,278	△0.1	0.1	—	99.6
	(期 末) 2026年 3 月16日	10,097	△1.9	0.1	—	99.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

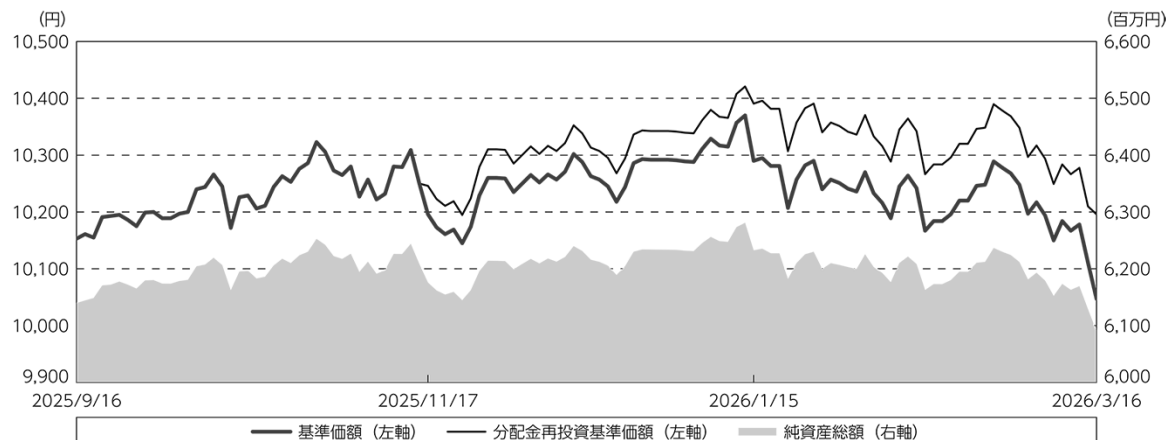
(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

(2025年9月17日～2026年3月16日)

作成期間中の基準価額等の推移



第11期首：10,153円

第13期末：10,047円 (既払分配金 (税込み) : 150円)

騰落率：0.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、当ファンドの決算時に分配金があった場合に、分配金(税引前)を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについては受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、受益者のみなさまの損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2025年9月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

主として、株式や債券の上昇に加え、米ドル高・円安がプラスに寄与しました。当作成期間において、基準価額は下落しましたが、分配金再投資ベースでは上昇しました。株式は主に米金融株式や米コミュニケーション・サービス株式がマイナスに影響する一方、オランダ株式やオーストラリア株式等がプラスに寄与しました。債券は主に短期投資適格社債や米国短期国債等がプラスに寄与しました。また、米ドル高・円安が大きく進んだことで、為替はプラスに寄与しました。

投資環境

【株式市場】

世界の株式市場は上昇しました。

関税交渉の進展や米国の利下げ期待等を背景に、当作成期初から2025年10月頃までは米大手ハイテク株式を中心に株式市場は上昇しました。11月以降から2026年2月末までは、大手ハイテク企業による巨額のAI投資に対する懸念や割高感等からハイテク株式が軟調に推移する局面が続いたものの、堅調な企業業績や米国の利下げ期待の継続等を背景に株式市場全体としては上昇が継続しました。米国株式の上昇ペースが鈍化する中で、米国からの地域分散ニーズの高まりを受けて、新興国株式や欧州圏の株式等は米国株式を上回るパフォーマンスとなりました。また、日本株式は高市政権の経済政策への期待を背景に上昇が目立ち、特に2026年に入り、衆院解散による与党の議席拡大が織り込まれたことで大きく上昇しました。3月以降は、米国・イスラエルのイラン攻撃を受けて原油価格が急騰し、インフレ加速と景気減速懸念が高まったことでリスク回避姿勢が進み、原油価格上昇の恩恵のあるエネルギー株式を除き、株式市場は当作成期末まで大幅に下落しました。特に、原油等エネルギーへの依存の大きいアジアや欧州が大きく下落し、米国は相対的に下落幅が小幅にとどまりました。当期間を通じては、2月末までの上昇を要因として株式市場は上昇しました。

【債券市場】

世界の国債市場は概ね横ばいで推移しました。

当作成期初から2026年1月末頃までは、インフレ圧力低下による米国での利下げ期待が継続する一方、欧州などでは財政リスクが懸念される局面等もあり、世界の国債市場は概ね横ばいで推移しました。日本では、利上げ期待の継続と高市政権の大規模財政政策に対する財政リスクが材料視され、金利は大きく上昇（国債価格は下落）しました。2月は米国でのハイテク株式の下落や労働市場の軟化懸念、プライベートクレジットや地政学に関する警戒からグローバルに金利は大きく低下（国債価格は上昇）しました。一方、3月以降当作成期末までは、米国・イスラエルのイラン攻撃によるホルムズ海峡の実質封鎖による原油価格の大幅高を背景に、インフレリスクへの警戒が景気後退懸念を上回る形で金利は大きく上昇し、当期間を通じては概ね横ばいでの推移となりました。

また、2025年10月や2026年2月にプライベートクレジット等を発端とする信用リスク懸念が高まり、イールドスプレッドは拡大しました。当期間を通じては投資適格社債やハイイールド社債市場は国債に比べ高い利回りがインカムとして寄与する一方でイールドスプレッドの上昇が価格下落要因となり、概ね横ばいでの推移となりました。

【米ドル・円為替市場】

米ドル・円為替市場は大きく米ドル高・円安が進みました。

当作成期初から2026年1月中旬まで、日本銀行が利上げを進める中でも依然として緩和的な環境であるとの見方や、高市政権の大規模財政政策に対する財政リスクが材料視され米ドル高・円安が大きく進みました。1月下旬は、日本銀行の金融政策決定会合では市場の想定より利上げに慎重との見方から円安が進む局面がありましたが、米国がレートチェックを行ったとの報道で為替介入警戒感が急速に高まったことで大幅に米ドル高・円安が進みました。2月に入ると、8日の衆院選を控え再び財政リスクを懸念する中で米ドル高・円安が進みました。衆院選で予想を上回る与党の議席獲得が伝わると財政規律が保ちやすくなるとの見方もあり、米ドル高・円安が反転する局面もありましたが、2月中旬以降は、再び米ドル高・円安が進みました。また、3月以降は当作成期末まで、米国・イスラエルのイラン攻撃を受けた原油高によって、エネルギー輸入依存度の高い日本と純輸出国である米国との差が意識されたことに加え、安全資産としての米ドル需要が高まり、米ドル高・円安が一段と進みました。

【国内短期金融市場】

国内短期金融市場では、2025年12月に日銀の0.25%の利上げが行われる等、利上げ実施の継続が引き続き想定される中で、3ヵ月物国庫短期証券利回りは当作成期末に向けて概ね上昇傾向で推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

【当ファンド（ベビーファンド）】

V T X ・アンブレラ・ファンド V T X 30/70バランスファンド クラス Dの組入比率を原則として高位に保つ運用を行いました。また、V T X マネー・マザーファンドにも投資を行いました。

【V T X ・アンブレラ・ファンド V T X 30/70バランスファンド クラス D】

主として上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて、日本を含む世界の株式および債券を実質的な投資対象とする国際分散投資を行いました。市場リスクの高まりから株式比率を引き下げた2026年3月中旬の期間を除き、株式と債券の配分比率は当ファンドの基本配分比率である株式30%、債券70%の基本資産配分を原則維持しました。

独自の定量モデルを用いて株式・債券を選別し、投資対象、比率の見直しは原則月次で行っています。株式では、カンントリーアロケーションではバリュエーションやAIを用いたテクニカルモデルによる分析を行い、適宜投資銘柄を見直しました。当期間においては主にファンダメンタル面でスペイン株式や英国株式、オランダ株式等を選好するケースが多くありました。米国内のセクターアロケーションではバリュエーションの観点での分析を行い、多くの期間で情報技術株式、コミュニケーション・サービス株式、金融株式等を選好しました。債券では、主にリスク対比の利回りの観点を重視したベースラインポートフォリオと局面判断モデルを用いたティルト戦略の2つの観点から投資対象を決定しています。主にリスク対比利回りの観点から、当期間は主に米国短期国債、短期投資適格社債、およびグローバル総合を選好しました。局面判断モデルは当作成期初から2025年10月、12月から2026年2月まではクレジットリスクやデレイトメントリスクにやや強気な見方を示したことから、ハイイールド社債、投資適格社債、米国中期国債等の組み入れを増やしました。為替ヘッジ比率は定量モデルを用いて株式・債券のヘッジ後の円ベースのリスクとヘッジコストを考慮して決定し、週次で見直しています。当作成期間は、概ね80%程度のヘッジ比率を維持しました。2026年3月中旬頃、市場リスクの上昇を背景として独自の定量モデルによるリスクコントロール戦略が発動し当作成期末にかけて、株式の段階的な売却を実施しております。

ファンドへの計上タイミング等の影響により、コメントの内容と資産別構成比率は乖離する場合があります。

投資信託証券を通じた上場投資信託証券（ETF）等の組入状況

◆資産別構成（2026年3月16日現在）

株式		30.2%
日本	iシェアーズ MSCI ジャパン ETF	—
カナダ	iシェアーズ MSCI カナダ ETF	1.4%
英国	iシェアーズ MSCI 英国 ETF	1.5%
オーストラリア	iシェアーズ MSCI オーストラリア ETF	—
ドイツ	iシェアーズ MSCI ドイツ ETF	—
スイス	iシェアーズ MSCI スイス ETF	—
フランス	iシェアーズ MSCI フランス ETF	—
香港	iシェアーズ MSCI 香港 ETF	1.4%
スペイン	iシェアーズ MSCI スペイン ETF	1.4%
シンガポール	iシェアーズ MSCI シンガポール ETF	—
オランダ	iシェアーズ MSCI オランダ ETF	1.5%
イタリア	iシェアーズ MSCI イタリア ETF	—
スウェーデン	iシェアーズ MSCI スウェーデン ETF	—
デンマーク	iシェアーズ MSCI デンマーク ETF	1.3%
エネルギー	State Streetエネルギー・セレクト・セクター SPDR ETF	1.8%
素材	State Street素材セレクト・セクター SPDR ETF	—
資本財・サービス	State Street資本財セレクト・セクター SPDR ETF	1.0%
一般消費財・サービス	State Street一般消費財セレクト・セクター SPDR ETF	1.7%
生活必需品	State Street生活必需品セレクト・セクター SPDR ETF	1.1%
ヘルスケア	State Streetヘルスケア・セレクト・セクター SPDR ETF	—
金融	State Street金融セレクト・セクター SPDR ETF	1.8%
	State Street SPDR S&P Bank ETF	
	State Street SPDR S&P Capital Markets ETF	
	State Street SPDR S&P Insurance ETF	
情報技術	State Streetテクノロジー・セレクト・セクター SPDR ETF	8.8%
	State Street SPDR S&P Software & Services ETF	
	State Street SPDR S&P Semiconductor ETF	
コミュニケーション・サービス	State Streetコミュニケーション・サービス・セレクト・セクター SPDR ETF	5.5%
公益事業	State Street公益事業セレクト・セクター SPDR ETF	—

債券		69.7%
グローバル総合	バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF	10.4%
	iシェアーズ Core International Aggregate Bond ETF	
米国短期国債	バンガード米国短期国債ETF	34.2%
米国中期国債	バンガード米国中期国債ETF	—
米国長期国債	バンガード米国長期国債ETF	—
新興国国債	iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF	—
短期投資適格社債	バンガード短期社債ETF	25.1%
	iシェアーズ 米ドル建て社債 1-5年 ETF	
投資適格社債	iシェアーズ iBoxx 米ドル建て投資適格社債 ETF	—
	iシェアーズ ブロード米ドル建て投資適格社債 ETF	
ハイイールド社債	iシェアーズ iBoxx 米ドル建てハイイールド社債 ETF	—
	iシェアーズ Broad USD High Yield Corporate Bond ETF	
米国MBS	iシェアーズ 米国MBS ETF	—

キャッシュ等		0.1%
短期国債・現金等	iシェアーズ 米国債0-3ヶ月 ETF等	0.1%

※資産別構成比の比率は全て純資産総額に対する割合です。短期国債・現金等には、V T X マネー・マザーファンドおよび米国の短期金融商品等を主要投資対象とするETFを含みます。なお当該ETFへの投資部分については原則として対円で為替ヘッジを行います。

【V T X マネー・マザーファンド】

主に残存期間の短い国債で運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

当期間の収益分配金につきましては基準価額水準、市況動向等を勘案し、以下のとおりとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第11期	第12期	第13期
	2025年9月17日～ 2025年11月17日	2025年11月18日～ 2026年1月15日	2026年1月16日～ 2026年3月16日
当期分配金	50	50	50
（対基準価額比率）	0.488%	0.484%	0.495%
当期の収益	50	50	47
当期の収益以外	—	—	2
翌期繰越分配対象額	480	486	484

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

【当ファンド（ベビーファンド）】

VTX・アンブレラ・ファンド VTX 30/70バランスファンド クラス Dの組入比率を原則として高位に保つ運用を行います。

【VTX・アンブレラ・ファンド VTX 30/70バランスファンド クラス D】

主として上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて、日本を含む世界の株式および債券に投資します。株式30%、債券70%の基本資産配分を原則維持し、資産保全の観点を強化しつつ安定的な信託財産の成長をめざす運用を行います。独自の定量モデルを用いて、株式では投資対象国・地域および業種等、債券では債券種別および年限等を選別し、魅力的と判断される資産に投資することで追加的収益の獲得をめざします。市場環境に応じて米ドル売り円買いの為替予約取引比率を調整し、円ベースでのリスクの管理およびリスクに対するリターン効率向上をめざします。また、市場リスクが大きく高まったと判断される場合には、株式の全売却等を含む株式および債券の組入比率の大幅な引き下げを行い、資産保全を図ります。

【VTX マネー・マザーファンド】

残存期間の短い国債等へ投資し、安定的な収益の獲得をめざします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年9月17日～2026年3月16日)

項 目	第11期～第13期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	40	0.387	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(18)	(0.180)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.196)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	40	0.389	
作成期間の平均基準価額は、10,255円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

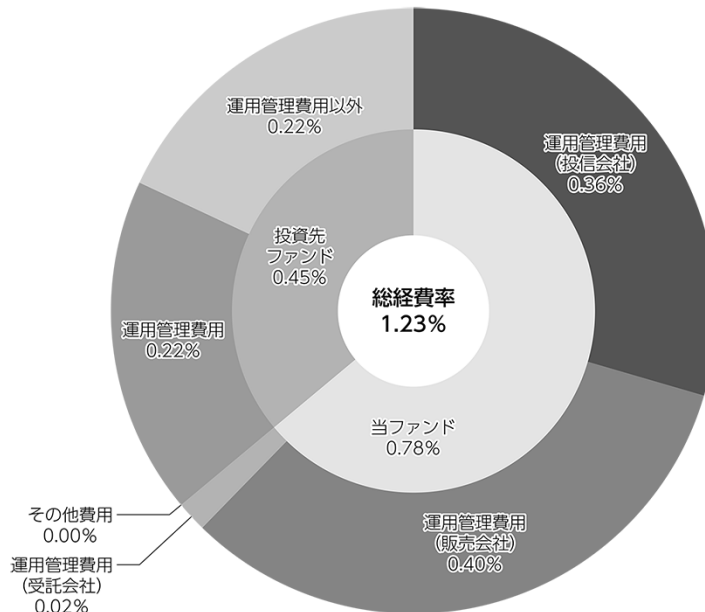
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.23%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.23
①当ファンドの費用の比率	0.78
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.22

(注) ①当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算したもので、項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）および投資信託証券が組み入れている上場投資信託証券（ETF）です。

(注) ①当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ②・③の投資先ファンドの費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用および投資信託証券が組み入れている上場投資信託証券（ETF）の運用管理費用を含み、上場投資信託証券（ETF）が支払った費用を含みません。

(注) ①当ファンドの費用と②・③の投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2025年9月17日～2026年3月16日）

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

（2025年9月17日～2026年3月16日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年3月16日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第10期末	第13期末		
		口数	口数	評価額	比率
		口	口	千円	%
VTX・アンブレラ・ファンド	VTX 30/70バランスファンド クラス D	600,416	600,416	6,060,001	99.5
合	計	600,416	600,416	6,060,001	99.5

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第10期末	第13期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
VTX	マネー・マザーファンド	6,000	6,000	6,029

○投資信託財産の構成

(2026年3月16日現在)

項 目	第13期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	6,060,001	98.9
V T X マネー・マザーファンド	6,029	0.1
コール・ローン等、その他	62,276	1.0
投資信託財産総額	6,128,306	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第11期末	第12期末	第13期末
	2025年11月17日現在	2026年1月15日現在	2026年3月16日現在
	円	円	円
(A) 資産	6,214,461,046	6,270,729,549	6,128,306,928
コール・ローン等	60,178,981	58,803,536	62,274,803
投資信託受益証券(評価額)	6,148,262,707	6,205,902,670	6,060,001,514
V T X マネー・マザーファンド(評価額)	6,018,600	6,022,200	6,029,400
未収利息	758	1,143	1,211
(B) 負債	38,546,340	38,200,470	38,313,963
未払収益分配金	30,284,495	30,283,959	30,308,358
未払解約金	425	30,050	8,507
未払信託報酬	8,219,772	7,846,700	7,956,790
その他未払費用	41,648	39,761	40,308
(C) 純資産総額(A－B)	6,175,914,706	6,232,529,079	6,089,992,965
元本	6,056,899,181	6,056,791,948	6,061,671,772
次期繰越損益金	119,015,525	175,737,131	28,321,193
(D) 受益権総口数	6,056,899,181口	6,056,791,948口	6,061,671,772口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,196円	10,290円	10,047円

(注) 当ファンドの第11期首元本額は6,047,079,864円、第11～13期中追加設定元本額は20,335,340円、第11～13期中一部解約元本額は5,743,432円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第11期1.0196円、第12期1.0290円、第13期1.0047円です。

○損益の状況

項 目	第11期	第12期	第13期
	2025年9月17日～ 2025年11月17日	2025年11月18日～ 2026年1月15日	2026年1月16日～ 2026年3月16日
	円	円	円
(A) 配当等収益	36,047,624	37,251,172	36,657,919
受取配当金	36,024,974	37,225,668	36,625,353
受取利息	22,650	25,504	32,566
(B) 有価証券売買損益	28,798,211	57,641,812	△145,873,107
売買益	28,824,782	57,643,568	27,708
売買損	△ 26,571	△ 1,756	△145,900,815
(C) 信託報酬等	△ 8,261,420	△ 7,886,461	△ 7,997,098
(D) 当期損益金(A+B+C)	56,584,415	87,006,523	△117,212,286
(E) 前期繰越損益金	89,413,372	115,707,732	172,355,539
(F) 追加信託差損益金	3,302,233	3,306,835	3,486,298
(配当等相当額)	(3,450,135)	(3,459,048)	(3,823,226)
(売買損益相当額)	(△ 147,902)	(△ 152,213)	(△ 336,928)
(G) 計(D+E+F)	149,300,020	206,021,090	58,629,551
(H) 収益分配金	△ 30,284,495	△ 30,283,959	△ 30,308,358
次期繰越損益金(G+H)	119,015,525	175,737,131	28,321,193
追加信託差損益金	3,302,233	3,306,835	3,486,298
(配当等相当額)	(3,450,135)	(3,459,048)	(3,823,226)
(売買損益相当額)	(△ 147,902)	(△ 152,213)	(△ 336,928)
分配準備積立金	287,513,985	291,372,997	289,601,449
繰越損益金	△171,800,693	△118,942,701	△264,766,554

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程

項 目	2025年9月17日～ 2025年11月17日	2025年11月18日～ 2026年1月15日	2026年1月16日～ 2026年3月16日
a. 配当等収益(経費控除後)	31,456,958円	34,156,784円	28,663,132円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	3,450,135円	3,459,048円	3,823,226円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	286,341,522円	287,500,172円	291,246,675円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	321,248,615円	325,116,004円	323,733,033円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	530円	536円	534円
g. 分配金	30,284,495円	30,283,959円	30,308,358円
h. 分配金(1万円当たり)	50円	50円	50円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第11期	第12期	第13期
1 万口当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円

(注) 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、分配金は全額普通分配金となります。
(注) 分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
(注) 分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合は、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。
(注) 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細 (2026年3月16日現在)

<V T X マネー・マザーファンド>

下記は、V T X マネー・マザーファンド全体(6,000千口)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第13期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	4,000	3,985	66.1	—	—	—	66.1
	(4,000)	(3,985)	(66.1)	(—)	(—)	(—)	(66.1)
合 計	4,000	3,985	66.1	—	—	—	66.1
	(4,000)	(3,985)	(66.1)	(—)	(—)	(—)	(66.1)

(注) ()内は非上場債で内書きです。
(注) 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第13期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第1326回国庫短期証券	—	4,000	3,985	2026/8/20
合 計		4,000	3,985	

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

投資対象ファンドの概要

VTX・アンブレラ・ファンド VTX 30/70バランスファンド クラス D

分類	ケイマン籍／外国投資信託／円建	
運用の基本方針		
運用の基本方針 主な投資対象	上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の株式および債券に投資し、リスクをコントロールしながらインカム収益の確保と長期的な資産成長を目指して運用を行います。	
投資態度	・ 株式30%、債券70%の基本資産配分に基づき両資産に投資を行います。ただし、市況動向等により基本資産配分から乖離する場合があります。 ・ 株式への投資にあたっては、株価の趨勢に影響を与えると考えられる複数のファクター等についての定量分析に基づき、投資対象国および業種を選別します。 ・ 債券への投資にあたっては、利回り、市場局面等についての定量分析に基づき、年限および債券種別を選別します。 ・ 実質組入外貨建資産については、市場動向および為替予約取引のコスト等についての定量分析に基づき、その全てあるいは一部について米ドル売り円買いの為替予約取引を行い、為替変動リスクの部分的な低減を図る場合があります。 ・ 市場リスクが大きく高まったと定量分析から判断される場合には、株式および債券の組入比率を大幅に引き下げます。その場合、短期国債等に投資することがあります。 ・ 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。	
主な投資制限	・ 有価証券の空売りは行いません。 ・ 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・ 非流動性資産への投資割合は、純資産総額の15%以下とします。 ・ 同一発行体への投資割合は、株式、債券それぞれにおいて純資産総額の10%以内とします。なお、ファンドがETFを保有している場合は、当該ETFが保有する有価証券によって投資割合を測定します。 ・ 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資は行いません。 ・ 投資運用会社は、自己または投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的の取引等を行いません。	
決算日	8月末日	
分配方針	原則として隔月毎に分配を行います。	
ファンドに係る費用		
運用管理報酬	純資産総額の年0.21%程度	
その他の費用	有価証券取引等に伴う手数料、その他ファンドの運営に必要な各種費用等	
投資運用会社	パーテックス・インベストメント・ソリューションズ株式会社	
管理事務代行会社	State Street Bank International GmbH, Luxembourg branch	

次ページ以降の記載は、作成時点において入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに抜粋・翻訳しています。委託会社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

VTX・アンブレラ・ファンド VTX 30/70 バランスファンド クラス D

損益計算書（2025 年 8 月 31 日現在）

	金額（円）
収益の部	
分配金	168,083,223
利息収入	1,988,051
収益合計	170,071,274
費用の部	
投資運用報酬	608,286
専門家報酬	4,013,661
管理事務，保管報酬	5,232,721
受託報酬,その他報酬	2,877,199
その他費用	2,668,504
費用合計	15,400,371
純投資収益	154,670,903
投資有価証券による実現純利益/(損益)	148,300,870
為替先渡契約による実現純利益/(損益)	(342,938,310)
外貨取引による実現純利益/(損益)	(2,482,350)
投資有価証券による未実現評価上昇（下落）の純変動	165,988,531
為替先渡契約による未実現評価上昇（下落）の純変動	66,795,694
外貨取引による未実現評価上昇（下落）の純変動	(341,370)
実現純利益（損失）、未実現評価上昇（下落）の純変動	35,323,065
運用による純資産の純増額	189,993,968

投資明細表（2025 年 8 月 31 日現在）

上場投資信託

アメリカ合衆国

通貨	数量	銘柄	評価時価（円）	純資産比率（％）
USD	11,300	COMM. SERVICES SELECT SECTOR SPDR FUND	184,809,656	3.03
USD	23,400	ENERGY SELECT SECTOR SPDR FUND	310,553,376	5.10
USD	47,000	FIN. SELECT SECTOR SPDR FUND	372,572,843	6.12
USD	6,200	HEALTH CARE SELECT SECTOR SPDR FUND	125,104,591	2.05
USD	111,200	ISHARES CORE INTL AGGREGATE BOND ETF	833,490,289	13.68
USD	14,400	ISHARES IBOX HIGH YIELD CORP BOND ETF	170,960,681	2.81
USD	10,800	ISHARES IBOX INVEST. GRADE CORP BOND ETF	174,110,958	2.86
USD	2,400	ISHARES JP MORGAN USD EMERGING MARKETS BOND ETF	33,166,006	0.54
USD	4,000	ISHARES MBS ETF	55,411,755	0.91
USD	13,800	ISHARES MSCI FRANCE ETF	86,295,219	1.42
USD	14,000	ISHARES MSCI GERMANY ETF	86,086,434	1.41
USD	11,800	ISHARES MSCI ITALY ETF	88,445,912	1.45
USD	21,300	ISHARES MSCI SINGAPORE ETF	87,879,167	1.44
USD	12,700	ISHARES MSCI SPAIN ETF	88,963,764	1.46
USD	14,700	ISHARES MSCI UNITED KINGDOM ETF	89,484,258	1.47
USD	203,500	ISHARES TRUST ISHARES 1-5 YEAR INVEST. GRADE CORP BOND ETF	1,583,282,253	26.00
USD	11,800	MATERIALS SELECT SECTOR SPDR FUND	159,878,330	2.62
USD	5,000	TECHNOLOGY SELECT SECTOR SPDR FUND	192,671,107	3.16
USD	12,300	VANGUARD INTERMEDIATE-TERM TREASURY ETF	108,501,326	1.78
USD	140,100	VANGUARD SHORT-TERM TREASURY ETF	1,210,966,647	19.88
アメリカ合衆国 合計			6,042,634,572	99.19
上場投資信託 合計			6,042,634,572	99.19
投資有価証券 合計			6,042,634,572	99.19
現預金			43,245,538	0.71
その他純資産（負債）			6,321,244	0.10
純資産 合計			6,092,201,354	100

VTX マネー・マザーファンド

運用報告書

第2期（決算日 2025年9月16日）
（2024年9月18日～2025年9月16日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2023年11月30日から原則として無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要投資対象	わが国の短期公社債および短期金融商品
組入制限	●株式への投資は行いません。 ●外貨建資産への投資は行いません。

バーテックス・インベストメント・ソリューションズ株式会社

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	債 券 債 券 純 資 産		債 券 債 券 純 資 産	債 券 債 券 純 資 産
		期 騰 落 中 率	組 入 比 率	先 物 比 率	総 額
(設定日)	円	%	%	%	百万円
2023年11月30日	10, 000	—	—	—	6
1 期(2024年 9 月17日)	9, 993	△0. 1	83. 4	—	5
2 期(2025年 9 月16日)	10, 023	0. 3	66. 5	—	6

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。
(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	債 券 債 券 純 資 産		債 券 債 券 純 資 産	債 券 債 券 純 資 産
		期 騰 落 率	組 入 比 率	先 物 比 率	総 額
(期 首)	円	%	%	%	%
2024年 9 月17日	9, 993	—	83. 4	—	—
9 月末	9, 994	0. 0	83. 4	—	—
10 月末	9, 994	0. 0	83. 4	—	—
11 月末	9, 996	0. 0	66. 6	—	—
12 月末	9, 998	0. 1	66. 6	—	—
2025年 1 月末	9, 998	0. 1	66. 6	—	—
2 月末	10, 001	0. 1	66. 6	—	—
3 月末	10, 004	0. 1	66. 6	—	—
4 月末	10, 007	0. 1	66. 5	—	—
5 月末	10, 010	0. 2	66. 5	—	—
6 月末	10, 013	0. 2	66. 5	—	—
7 月末	10, 017	0. 2	66. 5	—	—
8 月末	10, 021	0. 3	66. 5	—	—
(期 末)					
2025年 9 月16日	10, 023	0. 3	66. 5	—	—

(注) 騰落率は期首比です。
(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

(2024年9月18日～2025年9月16日)

基準価額の推移



○基準価額の主な変動要因

主としてわが国の短期公社債がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

投資環境

【国内短期金融市場】

国内短期金融市場では3ヵ月物国庫短期証券利回りは0.1%近辺で始まり、当作成期末に向けて概ね上昇傾向で推移しました。日銀が近く追加利上げに動くとの見方から2024年12月から2025年1月上旬にかけて上昇基調で推移しました。その後、2025年1月下旬に日銀は0.25%の利上げを行いました。次回の利上げまではやや時間が空くとみられることから、2025年2月以降の3ヵ月物国庫短期証券利回りは緩やかに上昇傾向で推移しました。

ポートフォリオ

主に残存期間の短い国債で運用を行いました。

○今後の運用方針

残存期間の短い国債等へ投資し、安定的な収益の獲得をめざします。

○1万口当たりの費用明細

(2024年9月18日～2025年9月16日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年9月18日～2025年9月16日)

公社債

		買付額	売付額
国		千円	千円
内	国債証券	7,989	—
			(9,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年9月18日～2025年9月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年9月16日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	4,000	3,998	66.5	—	—	—	66.5
	(4,000)	(3,998)	(66.5)	(—)	(—)	(—)	(66.5)
合 計	4,000	3,998	66.5	—	—	—	66.5
	(4,000)	(3,998)	(66.5)	(—)	(—)	(—)	(66.5)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第1298回国庫短期証券	—	4,000	3,998	2025/10/10
合 計		4,000	3,998	

○投資信託財産の構成

(2025年9月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 3,998	% 66.5
コール・ローン等、その他	2,015	33.5
投資信託財産総額	6,013	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年9月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,013,539
コール・ローン等	2,014,598
公社債(評価額)	3,998,916
未収利息	25
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A－B)	6,013,539
元本	6,000,000
次期繰越損益金	13,539
(D) 受益権総口数	6,000,000口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,023円

(注) 期首元本額 6,000,000円
期中追加設定元本額 0円
期中一部解約元本額 0円

(注) 2025年9月16日現在の元本の内訳は以下の通りです。
・VTX 生涯設計プラス30／70（年3％目標払出型） 6,000,000円

(注) 1口当たり純資産額は1.0023円です。

○損益の状況

(2024年9月18日～2025年9月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	7,282
受取利息	7,282
(B) 有価証券売買損益	10,609
売買益	10,609
(C) 当期損益金(A＋B)	17,891
(D) 前期繰越損益金	△ 4,352
(E) 計(C＋D)	13,539
次期繰越損益金(E)	13,539

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」第14条の改正に伴い、2025年4月1日付けで投資信託約款の運用報告書の電子交付に関する条文に所要の変更を行いました。